

海外インターンシップ報告 掲載記事

大垣市に成果報告

韓国でインターン

大垣工高生 市長に成果報告

大垣工業高校の生徒が大垣市役所を訪れ、市のフレンドリーシティである韓国・昌原市で行ったインターンシップの成果を小川敏市長に報告した。

同校は就職後に海外勤務を経験する卒業生が多いことから、国際社会に対応できるグローバルな産業人を育成しようと海外インターンシップを毎年行っている。4年目の今年は、8月21～25日に2年生8人が参加した。

生徒はスライドを使いながらセミナーロジックスや太平洋パルプ工業など、見学した企業の様子を報告。昌原市の工業高校生との交流では、生徒が放課後に資格取得の学習に励む姿に驚いたという。機械科の桑原徹さん(16)は「韓国の企業は社員同士の仲が良く、上下の壁がないように感じた。海外勤務の機会があればぜひ働きたい」と話した。

(八木彩情)



韓国・昌原市でのインターンシップの成果を報告する生徒たち＝大垣市役所